

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		飯田古墳群保存活用事業		課名	文化財保護活用課	事業No.	292
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H20	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす			
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画			
			史跡飯田古墳群保存活用計画				
法令・例規等			文化財保護法				
			長野県文化財保護条例				
			飯田市文化財保護条例・同施行規則				
事業目的		対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳				
		意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、人づくり・まちづくりに活かします。				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・史跡飯田古墳群の保護に万全を期するため、昨年度に引き続き姫塚古墳の範囲確認調査を実施しました。調査により、追加指定を進める上で必要な古墳の規模等の情報を得ることができました。 ・広報誌等への掲載やテレビの番組制作に協力し、史跡の価値を周知するための情報を広く発信しました。 ・地域の諸団体や地区公民館と連携し、史跡や埋蔵文化財等を紹介する展示等を行いました。また、学校と連携し、学習活動を支援しました。 ・観光部局や地域の保存団体等と連携して、観光資源としての活用を進めました。			発掘調査に係る経費				653			
				会計年度任用職員				847			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計画	実績			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績			
	範囲確認調査を実施した古墳	基	1	3	0	1	1	1			
	地域との連携による保護活動等の実施	回	10	9	10	9	10	17			
	市内外への情報発信	回	5	22	7	5	5	6			
	観光部局と連携した活用の取組み	回						1			
	学習会活動支援回数	回						12			
2年度 決算 (千円)	予算額	2,400	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	1,500	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1/2)								
	財源の 状況	国庫支出金	750								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	750										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	3	11	3	1,042	653	飯田古墳群保存活用事業費	
2	1	10	5	3	1	3	1,358	847	会計年度任用職員人件費	
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・新型コロナウイルスの影響により、野外活動も含めて地域活動や学校での教育活動の多くが中止となりました。今後、円滑に実施するには内容や方法を工夫する必要があります。 ・団体ツアーの問合せは減少しましたが、個人からの問い合わせが比較的多かったことや観光面では少人数で近場を巡るツアーが好評であったことなどからみて、活用の新たな可能性を考える段階にあるといえます。								
上記の課題解決のための有効策		・地域学習、学校教育に活用するために、映像媒体による学習用教材について検討する必要があります。 ・地域の古墳保護団体と連携して、個人や小規模ツアーにも対応できる古墳見学コースの設定、ガイドの育成等を検討する必要があります。さらに現地見学と合わせて、史跡の価値を示す出土品の展示施設の利活用を進める必要があります。								
次年度に向けての取り組み		・文化財部門事務局の移転に伴い、史跡の価値を広く情報発信するために博物館の展示公開機能を充実させていきます。 ・地域の古墳保護団体や史跡の土地所有者等関係者と連携して古墳の環境整備を適切に進めていきます。さらに、地域の諸活動に活かせるような学習方法を検討し、地域内での理解をより深めるための情報発信を行います。								